

税理士講座 合格者の声

資格の大原静岡校 税理士講座 官報合格インタビュー

令和元年度(第69回)税理士試験 官報合格者
榊原 巧 さん
勤務先:大石康夫税理士事務所

平成23年 簿記論 合格
平成23年 財務諸表論 合格
平成27年 法人税法 合格
平成30年 消費税法 合格
令和 元年 固定資産税 合格



この度は、
令和元年度(第69回)税理士試験官報合格おめでとうございます。

官報合格はどこで知りましたか？

事務所で知りました。
朝礼が終わり、即ネットで官報を出力して応接室にこもって確認しました。
誰かの電話で知るの嫌だったので…(笑)

税理士を目指すきっかけは？

中学時代から数学が好きで数字を使った仕事、資格を持った人にしか出来ない仕事に就きたいと考えていました。
その中で漠然と会計士・税理士を目指して商業高校から専門学校に進学しようと思いました。
会計士ではなく税理士と明確に意識し始めたのは、どんな仕事をしたいか具体的に考えたとき、お客様に寄り添って
税務や会計のサポートする方が自分に合っていると考えようになったからです。

大原を選んだきっかけは？

高校3年の進路決定時に「税理士の資格を取る」という
目標がありました。
大原であればその目標達成が出来ると思い選びました。
また、入学前に簿記1級のテキストを郵送してもらい
学習開始ができる環境があったのもポイントです。

在学中に簿記論・財務諸表論を合格をして、残り3科目を働きながら合格しましたが、榊原流の働きながら合格する方法は何ですか？

私の場合は「次の講義までに宿題は必ずやる！」という
ルールです。特に学習初年度の科目は、計算2回、
理論は覚えてから1回書くことを講義の度に積み重ねました。



勉強方法をお教えてください。

【計算】個別問題は仕事終了後に自宅等で、総合問題は休日に学校へ行って勉強をしました。
総合問題を解き終わったら昼食にする等生活の区切りを勉強の区切りにしていました。

【理論】1回目は声に出して暗記をします。出来たと思ったら書きます。
2度目以降は音読するだけでしたが、どうしても苦手な理論は書いていました。
昼休みに[1]だけ覚えたり、通勤、通学、仕事の移動時間等も利用して理論暗記をしていました。
特に理論が苦手だったので、毎日少しずつでも理論に触れることを意識しました。

税理士試験で一番大事な事は何ですか？

甘えをなくすことだと思います。
私は理論の記述問題で8割程度書けていましたが、
規定の内容をしっかりと指摘できず減点されることが多くありました。
自分では「大体書けているから大丈夫！」という部分がありましたが、
そういう年は良い結果が出なかったように思います。
だから自分を甘やかしていると気付いてからは
「この問題が出たら他の受験生は減点無しで解答するぞ！」
「自分も減点無しで解答するぞ！」
「その1点の減点で泣くかもしれないぞ！」
と言い聞かせて甘えないようにしていました。



最後に今後の抱負を聞かせて下さい

節税などの税金関係は勿論ですが、経営助言や経営計画等
幅広い知識を身に着け、お客様に対してより良いアドバイスが
出来るように日々勉強したいと思っています。
また、税法を分かりやすくお客様に伝える伝達力も鍛えて
いきたいと考えています。

本日は、ありがとうございました。